

9・2 広報活動

海運の役割や重要性を幅広く訴えるため、オピニオンリーダーや報道関係者に対し、機関誌「せんきょう」を送付するとともに、記者会見や懇談会を開催するなど当協会の活動をアピールした。また、学校・学生等も含めた一般向け広報に関しては、あらゆる機会を捉えて各種パンフレット、ビデオ等を配布するとともに、併せてホームページによる情報発信を行った。

活動状況の概要は以下の通りである。

9・2・1 オピニオンリーダー・マスコミ向け広報

(1) 機関誌「せんきょう」の発行

海運界が直面する諸問題や内外の動向およびこれらに対する当協会の対応や活動を主な内容とする機関誌「せんきょう」を毎月発行し、会員をはじめ各産業界、国会議員、関係省庁、シンクタンク、マスコミ関係者、教育機関などに広く配布した。

なお、機関誌「せんきょう」は情報発信の媒体見直しのため、平成 22 年 3 月号をもって廃刊とし、次年度 4 月以降の当協会の活動などは、ホームページを中心に発信していくこととした。

(2) 定例記者会見等の開催

当協会定例理事会開催日に、一般紙記者および海運専門紙記者を対象として、会長による定例記者会見を実施した。また、一般紙・専門紙各記者や一般紙論説委員との懇談会を実施するなど、各種取材に積極的に協力し、海運への理解の浸透に努めた。

9・2・2 一般向け広報

(1) 海運紹介映画「日本の海運」(DVD)の配布

一般の幅広い層を対象に、人々の暮らしに結びついている日本の海運の役割と重要性を認識してもらうために 2007 年 3 月に作成した映画「日本の海運」(DVD)を関係先やホームページを通じて積極的に配布し、海運に対する認識の向上に努めた。なお、配布数は平成 22 年 3

月に累計 12 万本に達した。

(2) 学校・学生向けセミナーの開催

2009 年 7 月 30 日、石油連盟との共催により、(社)日本船長協会や日本郵船歴史博物館、新日本石油㈱の協力も得て、東京都小学校社会科研究会の教師を対象として、海事施設および石油精製施設の見学会を主としたセミナーを開催した。なお、この見学会には、54 名の教師が参加した。

また、同年 8 月 28 日には福岡市小学校社会科研究会の教師を対象に、九州運輸局、(社)日本船長協会、(社)博多港振興協会、九州地方海運組合連合会の協力を得てコンテナターミナルの見学や福岡市港湾局の港務艇に乗船し、海から博多港の海事施設を見学した。この見学会には 38 名の教師が参加した。

(3) 寄附講座への講師派遣協力

① 関西海事教育アライアンスへの協力

大阪大学、大阪府立大学、神戸大学による関西海事教育アライアンスとして 3 大学大学院の連携授業が開講された。当協会会員会社より、講師として計 15 回の講座について協力した。

② 松山大学の寄付講座への協力

松山大学からの要請により、同大学で開講された公開講座「海事経済論」全 15 講座のうち、7 講座について会員会社より講師の派遣を行い、海運に対する理解促進に努めた。なお、本講座には毎回 200 名を超える聴講者が集まった。

③ 物流連大学寄附講座への講師派遣協力

(社)日本物流団体連合会が首都大学東京、関西大学、横浜国立大学に行った物流全般をテーマとする大学寄附講座のうち、外航海運の講座について、当協会会員会社より 3 名を講師として派遣し、各校 1 講座、計 3 講座に協力した。この講座については各校とも 100 名を超える聴講生があった。

(4) 当協会ホームページの拡充

当協会ホームページより、最新のプレスリリースや海賊レポート等の発信、オピニオン(「せんきょう巻頭言」)の掲載、トピック画像の更新を行い、一般向けの海運のPR強化に努めた。

なお、前述の機関誌「せんきょう」の平成22年3月の廃刊に伴い、海運界の動きを発信していくため、ホームページをリニューアルし、平成22年4月より運用を開始している。

(5) パンフレットの配布

(財)日本海事広報協会の協力の下、「SHIPPING NOW」の2009-2010年版制作に引き続き協力するとともに、既に作成してある子供向けの学習マンガ「船ってサイコー」を関係団体が実施するイベントやホームページを通じて積極的に配布し、海運への認識の向上に努めた。

(6) 「子供達に海と船を語る(船長、母校へ帰る)」事業(委託事業)

当協会が(社)日本船長協会に委託した「子供達に海と船を語る(船長、母校へ帰る)」事業は、全国の小中学校からの要望により、平成21年度には11回開催され、延べ1,300人余の児童・生徒に対し講義が行われた。

9・2・3 会員向け広報

(1) 各種情報の提供

会員向け情報の提供については、電子メールを利用した「船主協会からのお知らせ」により迅速な配信に努めた。また、当協会ホームページ(会員コーナー)を拡充し、これらの情報をメンバーが随時検索できるようデータベース化を進めた。

(2) 「2010年海運講習会」の実施

当協会は、会員会社およびその関係会社の新入社員(総合職・一般職)を対象とした海運講習会を毎年開催している。開催の目的は、海運界で働く者としての自覚と社会人として必要な心構えを育成することであり、平成21年度は2010年3月29日に開催し、合計

156名が参加した。

当日は、当協会 芦田昭充 広報担当副会長より、「世界を動かす気概を持とう」と題した講演を皮切りに、川崎汽船(株) 園部恭也 経営企画グループ長から「国際海運業の今後」を、また、日本郵船(株) 田中俊弘 船長から船長講話を講演願ったのをはじめ、ビジネスマナー講座やDVD「日本の海運(2003年制作版)」の上映などを行った。

9・2・4 その他

(1)今治海事展、横浜海フェスタに関係先とともに参画し、海運のPRに努めるとともに、来場者にパンフレット、DVDを積極的に配布した。

(2)海事記者会および会員会社の便宜を図るため、同記者会のプレスリリース窓口業務を行った。